

外国人看護師を受け入れて



平成26年5月22日
永生会法人本部
宮澤美代子



永生会紹介

東京都八王子市

開設 1961年

職員数全体 1800名

永生病院 628床

南多摩病院 170床

(東京都指定二次救急医療機関)

永生クリニック

クリニック0(ゼロ) 診療所



【介護老人保健施設】

- ・イマジン
- ・マイウェイ四谷
- ・オネスティ町田

【訪問看護ステーション】

- ・とんぼ
- ・ひばり
- ・いるか
- ・めだか
- ・口笛

グループホーム

- ・寿限無

【ケアプランセンター】

【居宅介護支援事業所】

- ・えいせい
- ・ぴあの
- ・片倉

【八王子市地域包括支援センター】

- ・片倉
- ・寺田

【通所リハビリテーション・介護予防】・スマイル永生

受け入れ数

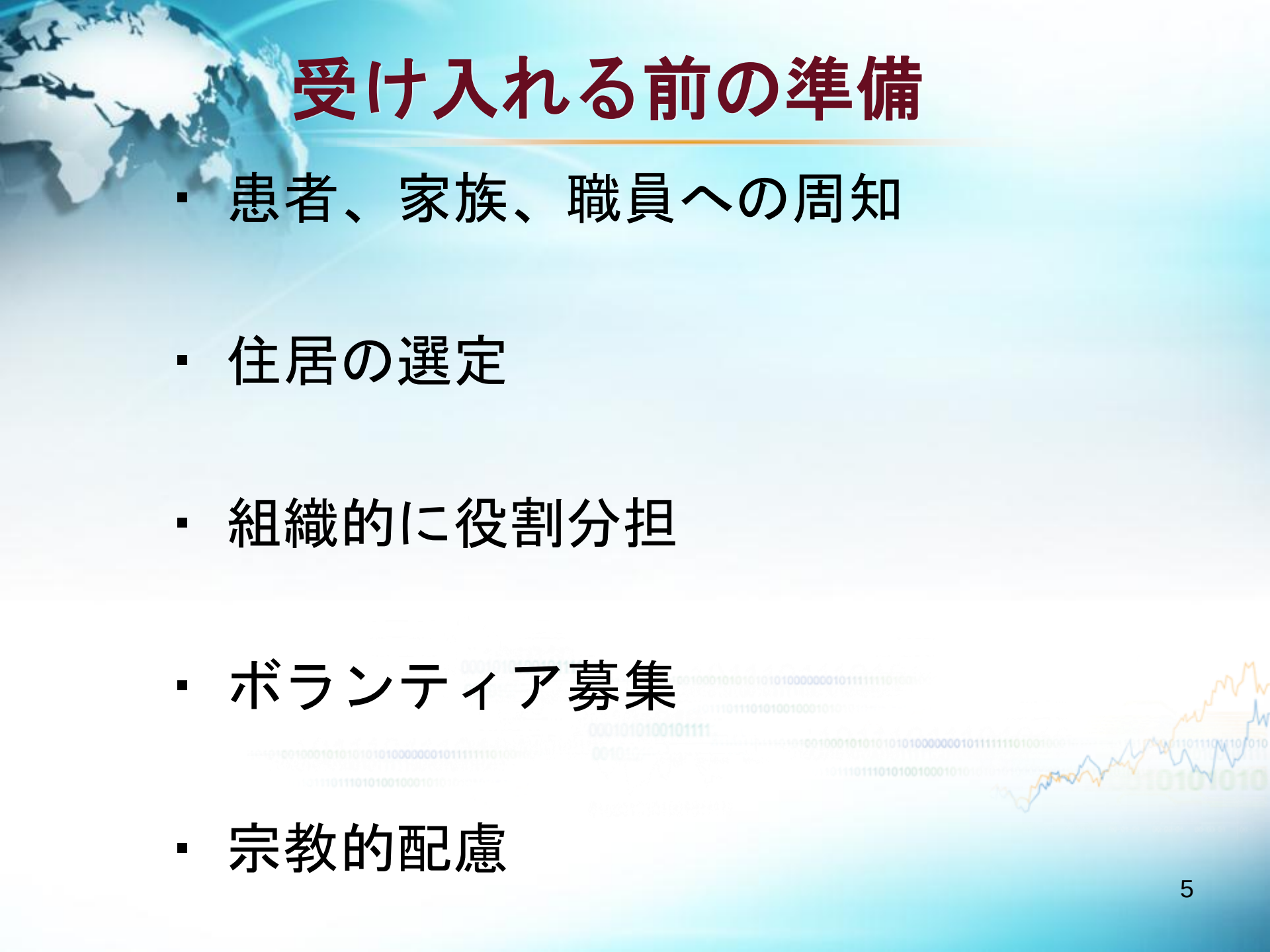
受入数 12名 (介護福祉士2名含)
 合格者 6名 (介護福祉士 2名含)
 帰国者 5名 (介護福祉士 合格者1名含)

国	インドネシア			フィリピン					
年度	看護師	合格	帰国	看護師	合格	帰国	介護福祉士	合格	帰国
2008年	2	1	1	－	－	－	－	－	－
2009年	2	0	2	2	1	1	2	2	1
2011年	2	2	0	－	－	－	－	－	－
2012年	1	－	－	－	－	－	－	－	－
2013年	－	－	－	1	－	－	－	－	－
合計	7	3	3	3	1	1	2	2	1 ₃



施設の受け入れ なぜ

- 国の施策に協力
- 将来を見据え人材育成
- 国際交流
- 施設や職員の活性化



受け入れる前の準備

- 患者、家族、職員への周知
- 住居の選定
- 組織的に役割分担
- ボランティア募集
- 宗教的配慮



主なサポート

- 研修支援
- 就労支援
- 生活支援
- メンタル支援



組織的に役割分担

- 理事長は総体的に把握、巡回時は声掛け
(誕生日や行事等は特に)
- 院長は歓送迎会に参加、挨拶など
- 看護部は就労や研修の支援
- 事務・人事課は就労の支援
(事務の手続きや生活上の相談)
- 管理課は居住環境の支援
- 職員全体で目配り、気配り



生活支援

- 住居（1K 費用は折半 水道、光熱費は個人負担、備品は寄付や着任時購入、地域の決まり等）
- 文化の違い（宗教、大家族、経済援助）
- 食事（特にインドネシア）
- 休日、時間（休暇を長くとり家族と過ごす習慣、時間にあまり厳しくない）
- 事務関係（書類届け出、雇用に関する手続き）

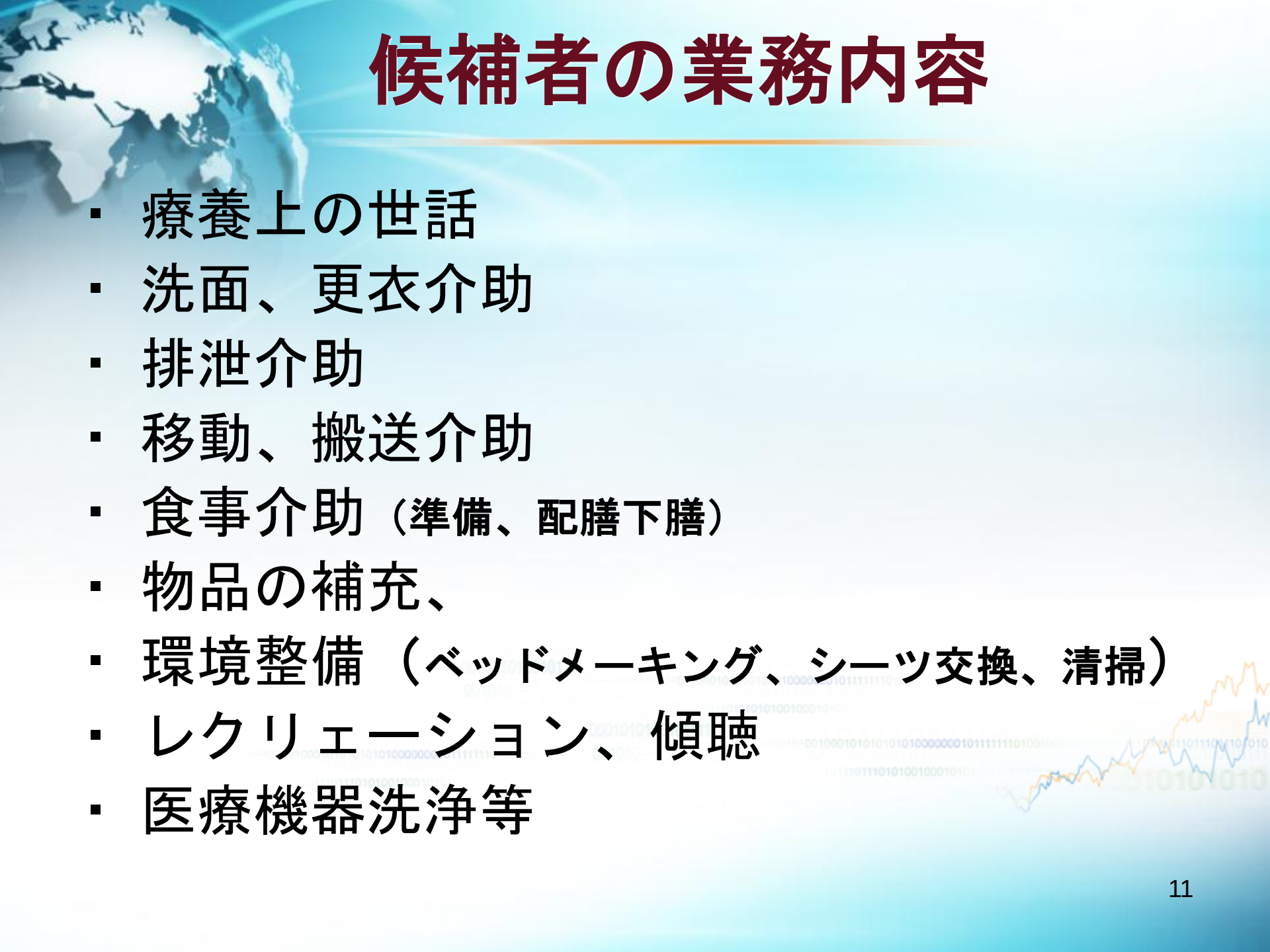
候補生の部屋





就労支援

- 勤務は日勤のみ
- 就労時間 4時間
- 配置は候補生の性格を考慮（先輩が在籍中等）
- 1人必ず付きサポート
- とにかくゆっくり話す
- ラマダン時は重労働は外す（インドネシア）



候補者の業務内容

- 療養上の世話
- 洗面、更衣介助
- 排泄介助
- 移動、搬送介助
- 食事介助（準備、配膳下膳）
- 物品の補充、
- 環境整備（ベッドメイキング、シーツ交換、清掃）
- レクリエーション、傾聴
- 医療機器洗浄等



研修支援

- 研修計画を基に
- 電子辞書貸与
- 参考書、辞書贈与
- 院内研修（1日約4時間、10月頃より全日）
- 外部研修参加
- 講師
日本語講師 外部より
看護専門講師 病院専属看護師、
看護師長、看護部長

E P A 看護師候補者年間教育

平成26年度 外国人看護師候補生教育計画(平成24年度入国2名・25年度入国1名)

2014.4作成

項目	担当	候補者	開始日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
日本語	外部講師1 週2日(水・木曜日) 10時～12時	エルニ チェリル シェイン	4月2日～											
							日本語検 定3級受 験							
								基礎分野(苦手分野の学習まとめ) オンデマンド DVD使用しての講義						
											隔日テスト(解答と不明箇所の学習) オンデマンドの繰り返し学習(小テスト)			
国家試験対策	看護部担当者 月～金 学習時間 14時～17時 学習形態	エルニ チェリル シェイン	自己学習 中心	模 擬 テ ス ト		苦手分野化の学習スタート (模擬テスト結果により決定) 毎週金曜日 小テスト								
						週4日3時間			週5日3時間			週5日1日学習		
						研修参加・参考書を用いた国家試験対策学習(院内模擬テスト)・実習・見学・仕事								
院外研修	JICWELS				JICWELS 集合研修	JICWELS 集合研修				JICWELS 集合研修	JICWELS 集合研修		JICWELS 集合研修	
模擬テスト	外部模擬試験 内部模擬試験					JICWELS TECOMテ スト				JICWELS TECOMテ スト	JICWELS TECOMテ スト		JICWELS TECOMテ スト	
									1回実施	2回実施	3回実施	4回実施	4回実施	4回実施
巡回訪問	JICWELS								9月予定					

: 振り替え

: 振り替え: 振り替え14



使用している資料

例

国際厚生事業団編著「介護の言葉と漢字ワークブック」

国際厚生事業団編著「看護師国家試験出題基準」

AOTS編著「専門日本語」「場面から学ぶ看護の日本語」

BIMACONG メールマガジン「看護師国家試験対策」

メディカ出版 レビューブック

テコム 模擬テスト

各社国家試験の過去問テキストを組み合わせ

N 2 取得を目標にモチベーションを保ち励ましながら

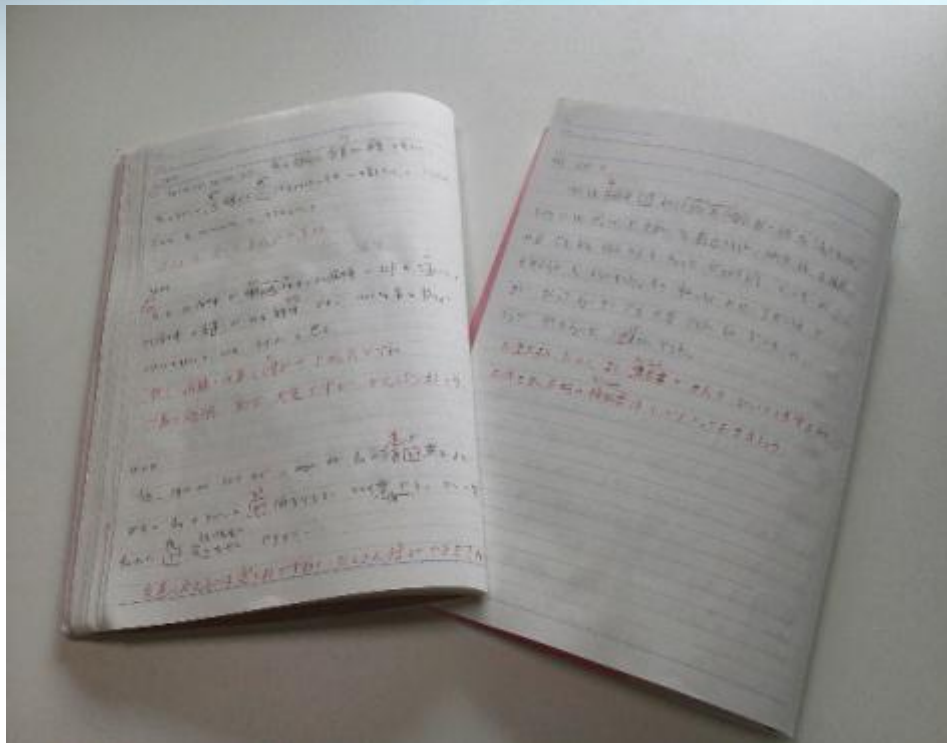
毎回、確認テストを実施



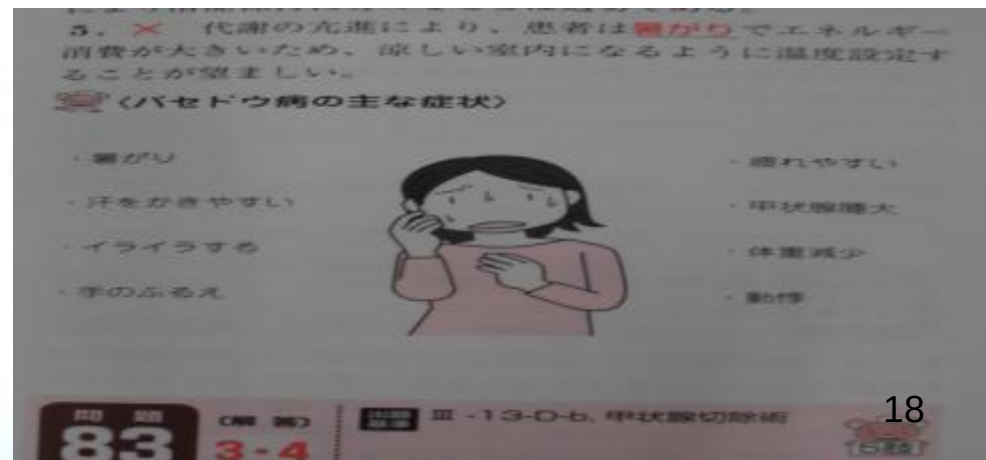
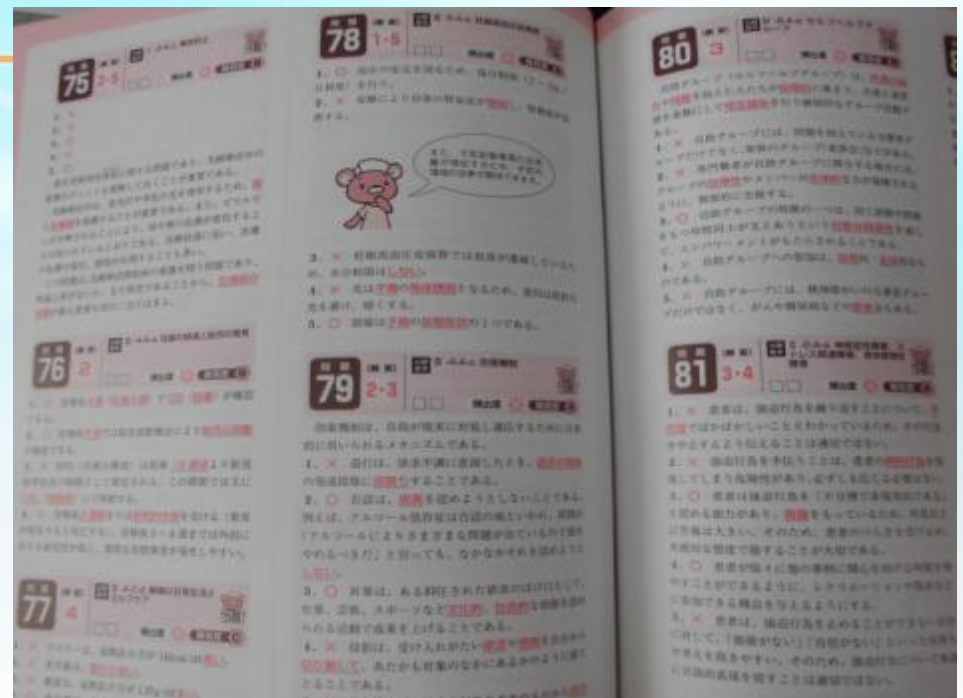
研修における工夫

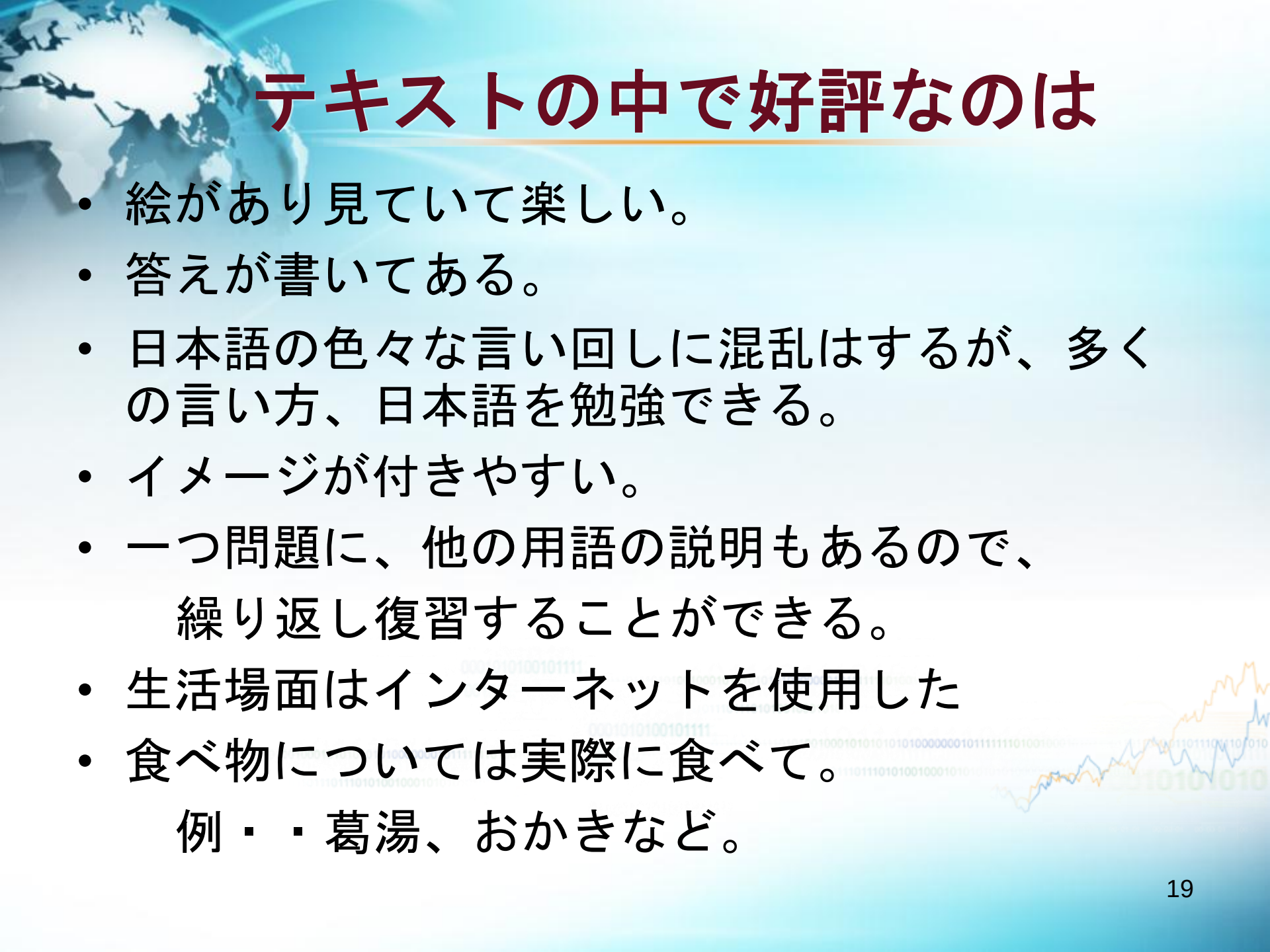
- 自国の言葉になおす
- 絵を書いて
- ジェスチャーや具体的な言葉に置き換えて
- 何度も繰り返し、聞いて、話して
- オンデマンドを使用しP C上でなく
紙面に打ち出し
- 院内研修や復職支援研修に参加する

候補生ノート



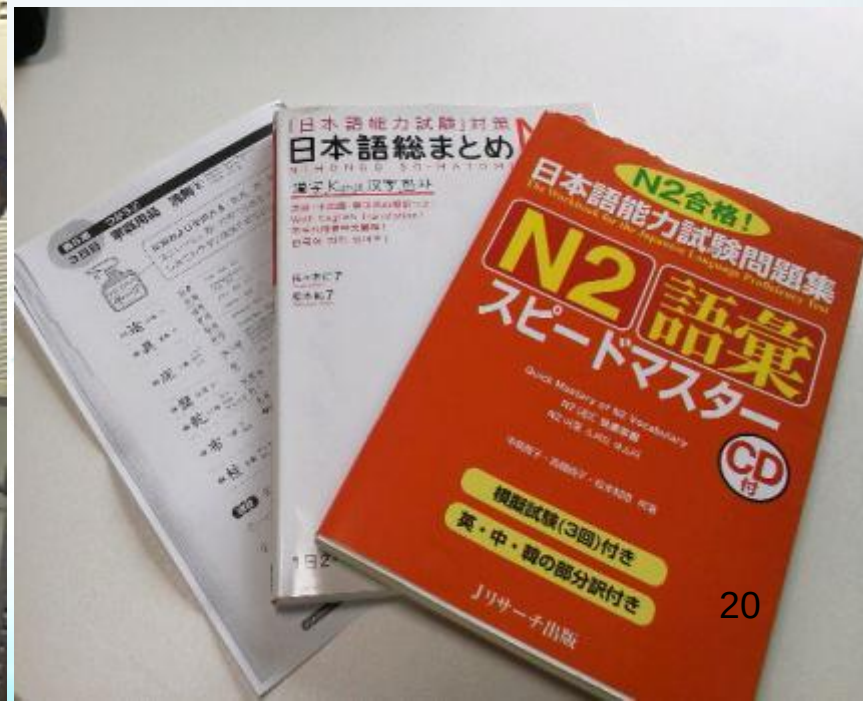
資料





テキストの中で好評なのは

- 絵があり見ていて楽しい。
- 答えが書いてある。
- 日本語の色々な言い回しに混乱はするが、多くの言い方、日本語を勉強できる。
- イメージが付きやすい。
- 一つ問題に、他の用語の説明もあるので、繰り返し復習することができる。
- 生活場面はインターネットを使用した
- 食べ物については実際に食べて。
例 ・ ・ 葛湯、おかきなど。



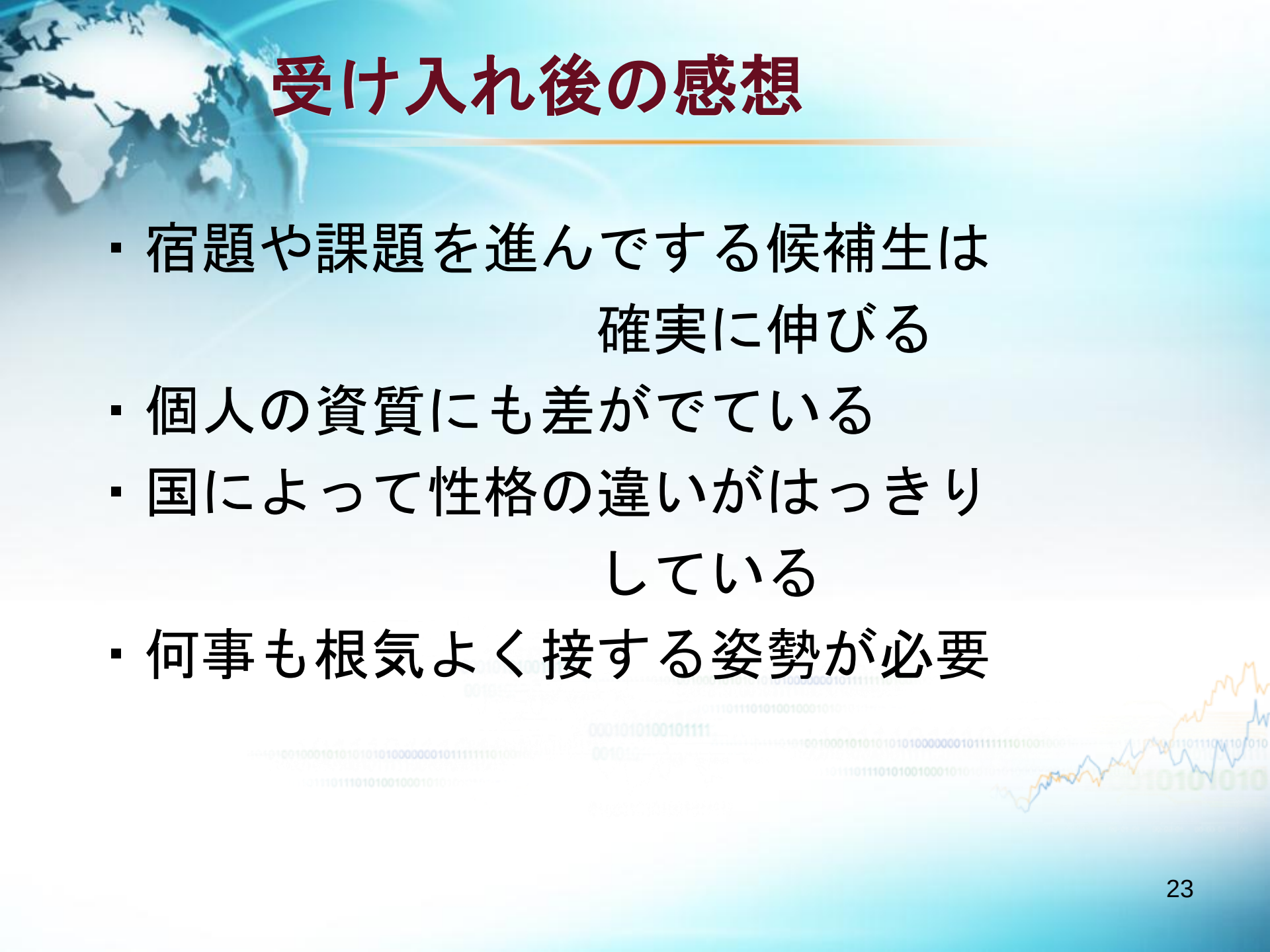
メンタル支援

- 職員・友人
- 地域のボランティア員
- 国際厚生事業団相談
- 大使館などネットワーク相談
- 趣味や外部の同好会



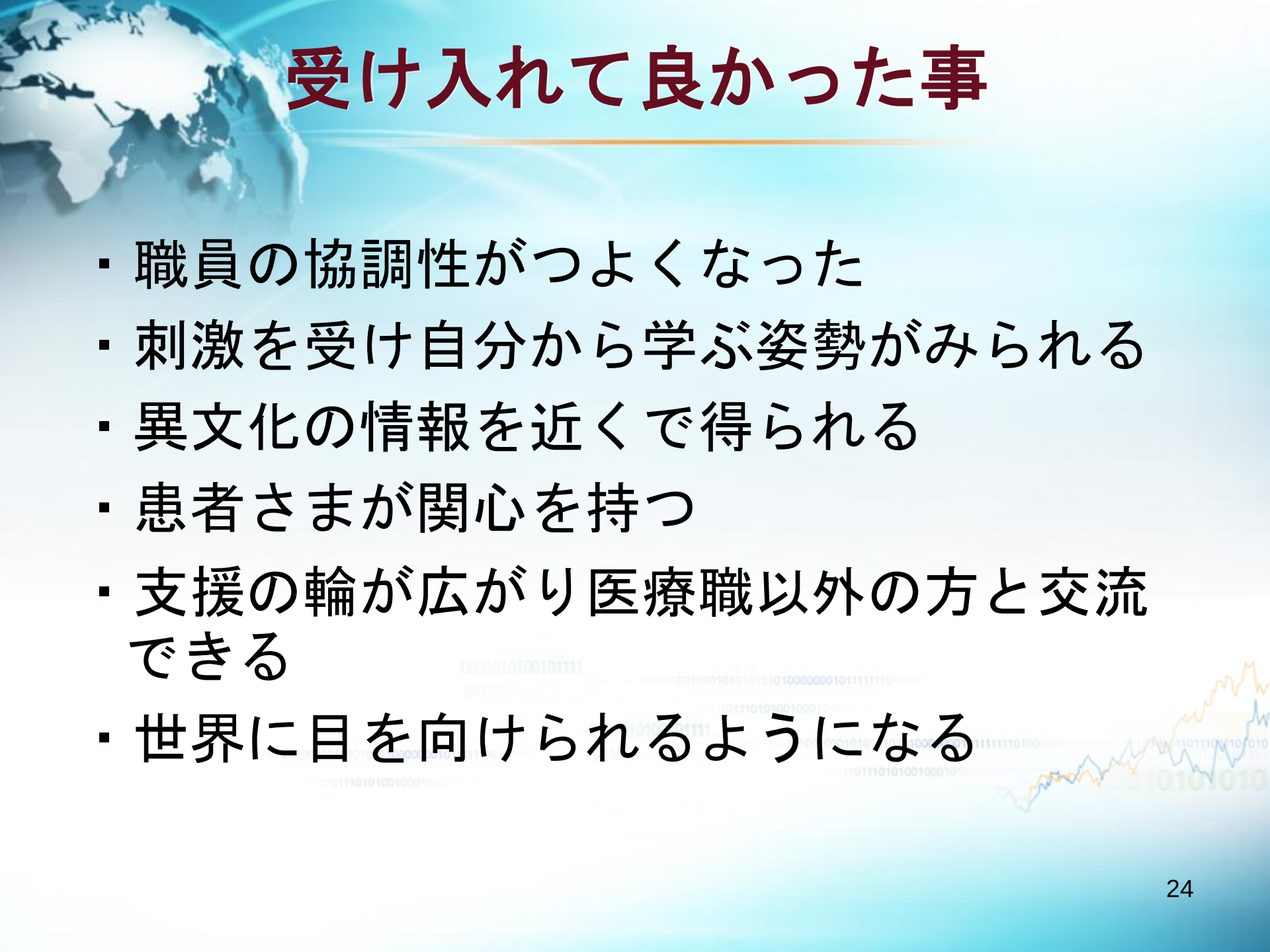


行事



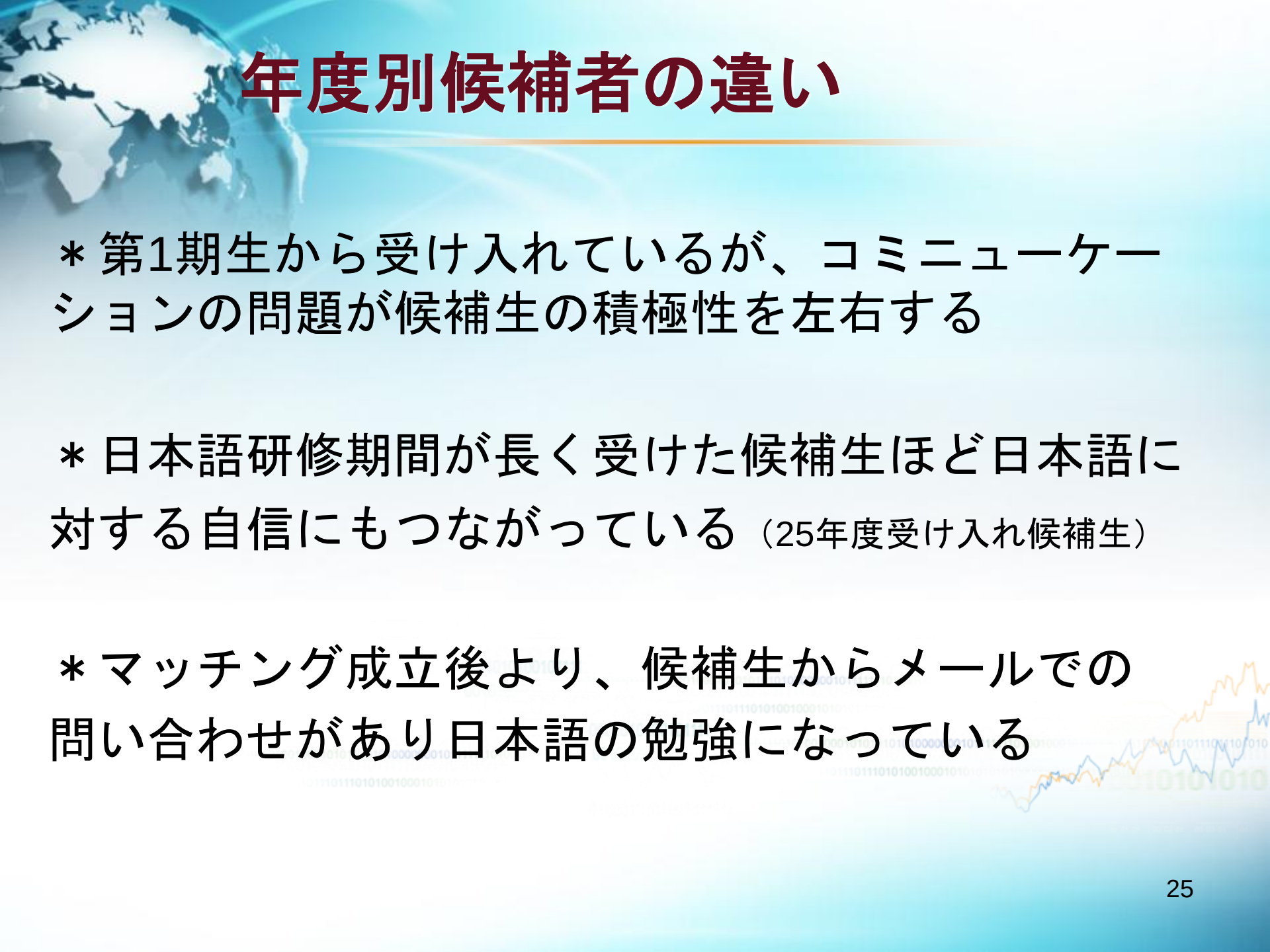
受け入れ後の感想

- 宿題や課題を進んでする候補生は
確実に伸びる
- 個人の資質にも差がでている
- 国によって性格の違いがはっきり
している
- 何事も根気よく接する姿勢が必要



受け入れて良かった事

- 職員の協調性がつよくなった
- 刺激を受け自分から学ぶ姿勢がみられる
- 異文化の情報を近くで得られる
- 患者さまが関心を持つ
- 支援の輪が広がり医療職以外の方と交流できる
- 世界に目を向けられるようになる



年度別候補者の違い

- * 第1期生から受け入れているが、コミュニケーションの問題が候補生の積極性を左右する
- * 日本語研修期間が長く受けた候補生ほど日本語に対する自信にもつながっている（25年度受け入れ候補生）
- * マッチング成立後より、候補生からメールでの問い合わせがあり日本語の勉強になっている



国際厚生事業団の支援

- 研修計画・実施
- 教材の配布
- 教師の派遣
- オンデマンドの充実化
- 施設巡回指導
- 電話相談
- 調査報告等



国際厚生事業団集合研修にて

- 候補者

日本語と母国語で相談ができ、周りの友人の研修や日常の様子も聞けて心強い

- 指導者

自分の指導方法を確認して頂き

「現状で構わない」という一言で

自信が持てた

厚生事業団のサポートなしでは難しい



はじめて受け入れる施設へ

- 個人差があるため根気よく見守る
- 習慣や文化の違いを理解する
- 生活面では買い物、公共施設、書類、
教会所在
- 本人や家族の病気、慶弔時の支援
- ボランティアや地域の方に支援依頼
- わからない時はすぐに事業団に相談



合格後の彼らたち

- 1期生インドネシア看護師
内科一般病棟で勤務2年目に結婚
現在第1子誕生産休中
- 1期生フィリピン看護師
整形外科を1年経験、その後療養病棟へ
- 1期生フィリピン介護福祉士
介護病棟へ
- 4期生インドネシア看護師 2名
整形外科、一般内科病棟へ



1期生デヴィさんの両親とベビー





私の願い

一人でも多く合格をして
日本で長く勤め世界で活躍する人に

日本に来て良かったと思って
くれる制度でありたい